

2020年12月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 テックポイント・インク (Techpoint, Inc.) 上場取引所 東証マザーズ (外国株)
 コード番号 6697 URL www.techpoint.co.jp
 代表者名 (役職名) 最高経営責任者兼取締役社長 (氏名) 小里 文宏
 問合せ先責任者 (役職名) 株式会社テックポイントジャパン 代表取締役社長 (氏名) 蓬田 宏樹 (TEL: 03-6205-8405)
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料の作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(単位: 千米ドル(千円)、%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益		株式報酬費用控除前の 四半期純利益 (Non-GAAP 指標) (注3)	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
2020年12月期 第3四半期	20,823 (2,203,073)	△4.5%	430 (45,494)	△65.5%	626 (66,231)	△51.4%	456 (48,245)	△61.2%	1,284 (135,847)	△38.5%
2019年12月期 第3四半期	21,809 (2,307,392)	△1.7%	1,246 (131,827)	14.1%	1,287 (136,165)	5.3%	1,174 (124,209)	△5.2%	2,088 (220,910)	△3.8%

(注1) 当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。本書において円で表示している金額は、便宜上、2020年9月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買相場の仲値に基づき1米ドル105.80円で換算された金額であります。本開示資料において以下同じ。

(注2) 四半期包括利益は2020年12月期第3四半期537千米ドル(56,815千円)(△54.3%)、2019年12月期第3四半期1,174千米ドル(124,209千円)(△5.2%)。

(注3) 2020年12月期第3四半期の9か月間の株式報酬費用は1,136千米ドル(120,189千円)でした。これを除いた調整後営業利益は1,566千米ドル(165,683千円)、2020年9月30日現在における2020年12月期通期の予想期間実効税率27.16%の税効果考慮後の調整後四半期純利益は1,284千米ドル(135,847千円)となります(Non-GAAP指標)。なお2019年12月期第3四半期においては、9か月間の株式報酬費用は1,021千米ドル(108,022千円)であり、これを除いた調整後営業利益は2,267千米ドル(239,849千円)、期間実効税率10.44%の税効果考慮後の四半期純利益は2,088千米ドル(220,910千円)でした(Non-GAAP指標)。なお、2019年12月期第3四半期の数値は、2019年12月期通期の実効税率を元に再計算したものです。

(単位: 米ドル(円))

	基本的1株当たり 当社株主に 帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり 当社株主に 帰属する四半期純利益	基本的1株当たり当社株 主に帰属する株式報酬費 用控除前の四半期純利益 (Non-GAAP 指標)	希薄化後1株当たり当社 株主に帰属する株式報酬 費用控除前の四半期純利 益 (Non-GAAP 指標)
2020年12月期第3四半期	0.03 (3)	0.03 (3)	0.07 (7)	0.07 (7)
2019年12月期第3四半期	0.07 (7)	0.07 (7)	0.12 (13)	0.12 (13)

(2) 連結財政状態

(単位：%表示を除き、千米ドル(千円))

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
2020年12月期第3四半期	38,876	34,138	34,138	87.8%
	(4,113,081)	(3,611,801)	(3,611,801)	
2019年12月期	38,546	32,380	32,380	84.0%
	(4,078,167)	(3,425,804)	(3,425,804)	

2. 配当の状況

(単位：米ドル(円))

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正：無

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期	—	—	—		
2020年12月期(予想)				—	—

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)(単位：千米ドル(千円)、%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当期純利益		【参考値】株式報酬費用 控除前の当期純利益 (Non-GAAP指標)	
通期(2020年)予想	32,323	0.9%	2,572	7.4%	2,804	14.5%	2,271	3.5%	3,528	1.9%
	(3,419,773)		(272,118)		(296,663)		(240,272)		(373,262)	

	基本的1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	【参考値】基本的1株当たり当社株主に帰属する株式報酬費用控除前の当期純利益(Non-GAAP指標)	【参考値】希薄化後1株当たり当社株主に帰属する株式報酬費用控除前の当期純利益(Non-GAAP指標)
通期(2020年)予想	0.12ドル (13円)	0.12ドル (13円)	0.19ドル (20円)	0.19ドル (20円)

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	17,634,015株	2019年12月期	17,449,572株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	—株	2019年12月期	—株
③ 期中加重平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	17,559,438株	2019年12月期3Q	17,239,544株

※ 本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象ではありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本四半期決算短信に含まれる業績予想及びその他の将来予測に関する記述は、現在入手可能であり、かつ当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、さまざまな要因により著しく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更.....	4
3. 四半期連結財務諸表及びその他の情報	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

2020年9月30日(連結)に終了した9か月間(以下、「当第3四半期連結累計期間」と表記)及び2019年9月30日(連結)に終了した9か月間(以下、「前年同期」と表記)の比較

売上高

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比較して1.0百万米ドル(104百万円)又は4.5%減少しました。これは主に、監視カメラシステム市場向け半導体製品の売上高が、同製品の出荷数の36%の減少及び製品構成の変化に伴って平均販売価格が減少したことに加え、5.0百万米ドル(524百万円)減少したことによるものです。この売上高の減少は、車載カメラシステム市場向け半導体製品の売上高が、同製品の出荷数の97%の増加に伴い、4.0百万米ドル(420百万円)増加したことによって部分的に相殺されました。

当社の半導体製品の価格は半導体市場内で同じ水準を維持してきております。当社平均販売価格の動きは製品構成の変化によるもので、これは当社の製品構成が様々な価格帯にわたっているからです。高い価格帯の製品の販売数が増加又は低い価格帯の製品の販売数が減少すると平均販売価格が増加し、高い価格帯の製品の販売数が減少又は低い価格帯の製品の販売数が増加すると平均販売価格が減少します。

売上原価

当第3四半期連結累計期間の売上原価は、前年同期と比較して1.3百万米ドル(137百万円)又は11.9%減少しました。この売上原価の減少は、主に棚卸資産評価減の減少、前期計上棚卸資産評価減の戻入れの増加、製品保証費用の減少及び前期計上製品保証残高の戻入れに伴う0.6百万米ドル(69百万円)の減少、加えて製品構成の変化によるものです。これらの要因による売上原価の減少は、売上総利益率にプラスの影響を及ぼしました。

研究開発費

当第3四半期連結累計期間の研究開発費は、前年同期と比較して、0.7百万米ドル(78百万円)又は15.5%増加しました。これは主に、新製品の開発に伴うテープアウト費用の0.9百万米ドル(96百万円)の増加が、外注のデザイン費用及びソフトウェア費用の0.2百万米ドル(17百万円)の減少によって一部相殺されたものです。

販売費及び一般管理費

当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、前年同期と比較して、0.4百万米ドル(41百万円)又は7.9%増加しました。これは主に、事業拡大に伴う人員増による人件費の0.3百万米ドル(34百万円)の増加、日本で上場している米国会社として必要な事務上の対応のための専門家費用の0.1百万米ドル(13百万円)の増加、株式報酬費用の0.1百万米ドル(7百万円)の増加が、展示会費用及び旅費交通費などのマーケティング活動費用0.2百万米ドル(16百万円)の減少により部分的に相殺されたことによるものです。

その他の収益

当第3四半期連結累計期間のその他の収益は、前年同期と比較して、0.2百万米ドル(16百万円)又は378.0%増加しました。これは主に、純金利収入の0.2百万米ドル(20百万円)の増加が、外国為替取引及び外国為替差益の変動によって部分的に相殺されたことによるものです。

法人税等

当第3四半期連結累計期間の法人税費用は、前年同期と比較して、0.1百万米ドル(6百万円)又は50.4%増加しました。これは主に一時的な税務ベネフィットの減少に伴う実効税率の上昇による増加が、課税所得の減少によって一部相殺されたことによるものです。

四半期純利益(損失)

前述の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの四半期純利益は0.5百万米ドル(48百万円)、前年同期は純利益1.2百万米ドル(124百万円)でした。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産

流動資産

2020年9月30日現在の流動資産は31.6百万米ドル(3,341百万円)であり、2019年12月31日に対して3.7百万米ドル(389百万円)又は13.2%の増加となりました。これは主に、売却可能負債性証券が期間の経過に伴ってその他の長期資産から組替えられた事並びに新規購入に伴う8.7百万米ドル(921百万円)の短期投資の増加、及び手元又は製造過程における在庫数が製品販売数を上回ったことによる1.7百万米ドル(177百万円)の当期棚卸資産の増加が、6.5百万米ドル(684百万円)の現金及び現金同等物の減少及び0.2百万米ドル(22百万円)の前払費用及びその他の流動資産の減少によって、部分的に相殺されたことによるものです。

非流動資産

2020 年 9 月 30 日現在の非流動資産は総額 7.3 百万米ドル (772 百万円) であり、2019 年 12 月 31 日に対して 3.3 百万米ドル (354 百万円) 又は 31.4%の減少となりました。これは主に、長期投資の減少に伴うその他の長期資産の 3.4 百万米ドル (364 百万円) の減少、及び繰延税金資産の 0.1 百万米ドル (13 百万円) の減少が、有形固定資産の 0.1 百万米ドル (15 百万円) の増加によって部分的に相殺されたものです。

負債及び株主資本

流動負債

2020 年 9 月 30 日現在の流動負債は総額 4.2 百万米ドル (439 百万円) であり、2019 年 12 月 31 日に対して 1.4 百万米ドル (146 百万円) 又は 25.0%の減少となりました。これは主に、発注と支払いの時期のずれにより生じる買掛金の 0.6 百万米ドル (65 百万円) の減少、費用の発生と支払い請求の時期のずれにより生じる未払費用の 0.5 百万米ドル (48 百万円) の減少、及び入金と出荷の時期のずれによる顧客預り金の 0.4 百万米ドル (46 百万円) の減少によるものです。

非流動負債

2020 年 9 月 30 日現在の非流動負債は総額 0.6 百万米ドル (62 百万円) であり、2019 年 12 月 31 日に対して 46 千米ドル (5 百万円) 又は 7.3%の減少となりました。これは主に、長期リース負債の減少によるものです。

株主資本

2020 年 9 月 30 日現在の株主資本は総額 34.1 百万米ドル (3,612 百万円) であり、2019 年 12 月 31 日に対して 1.8 百万米ドル (186 百万円) 又は 5.4%の増加となりました。これは主に、株式報酬であるストック・ユニットやストック・オプションの権利確定及び行使による資本剰余金の 1.2 百万米ドル (129 百万円) の増加、及び利益剰余金の 0.5 百万米ドル (48 百万円) の増加によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

車載カメラシステム市場向け半導体製品の売上につきまして、2020 年第 4 四半期において、2020 年第 3 四半期と比較して、約 30%増加すると予想しております。これは主に、車載機器メーカーが市場の低迷から回復し始めている中、本年度の前半において車載機器メーカーから獲得した複数の新規採用案件が量産に移行したことによるものです。車載カメラシステム市場においては、更なる新規採用案件の量産移行に伴い、増収が続くと見込んでおります。

監視カメラシステム市場向け半導体製品の売上につきまして、2020 年第 4 四半期において、2020 年第 3 四半期と比較して、約 200%増加すると予想しておりますが、2019 年第 4 四半期と比較すると約 10%減少すると予想しております。これは、北米、南米、中東及びインドにおける完成品市場が、新型コロナウイルスのパンデミックの影響により、冷え込んでいるためです。2020 年第 4 四半期において、映像受信半導体製品の売上は、新型コロナウイルスのパンデミック以前の四半期と比較すると、約 50%に落ち込んだままです。しかしながら、イメージングプロセッサ製品の売上は、顧客が、既存の製品から派生した製品を益々量産移行することで、2020 年第 4 四半期において、過去の諸四半期と比較して約 130%増加すると見込んでおります。新開発の CMOS イメージセンサー製品は、2021 年下半期において収益への貢献を開始すると予想しています。

新製品開発に伴い、多大な研究開発費用が引き続き第 4 四半期に計上されることが見込まれるものの、第 4 四半期において、営業利益及び純利益を確保することが予想されます。

なお、2020 年第 4 四半期の 3 か月間の連結業績予想数値は以下の通りです。

売上高	11,500 千米ドル (1,216,700 千円)
営業利益	2,141 千米ドル (226,518 千円)
税引き前四半期純利益	2,176 千米ドル (230,221 千円)
当期純利益	1,813 千米ドル (191,815 千円)
株式報酬費用控除前の当期純利益 (Non-GAAP 指標)	2,160 千米ドル (228,528 千円)
基本的 1 株当たり当社株主に帰属する当期純利益	0.10 ドル(11 円)
希薄化後 1 株当たり当社株主に帰属する当期純利益	0.10 ドル(11 円)
基本的 1 株当たり当社株主に帰属する株式報酬費用控除前の当期純利益 (Non-GAAP 指標)	0.12 ドル(13 円)
希薄化後 1 株当たり当社株主に帰属する株式報酬費用控除前の当期純利益 (Non-GAAP 指標)	0.12 ドル(13 円)

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更
該当事項はありません。なお、当社は会計基準更新書第 2018-13 号「公正価値測定 (Topic820)」を 2020 年第 1 四半期から適用しており、当該会計基準更新書の適用により四半期連結累計期間の開示事項に重要な影響はありませんでした。

3. 四半期連結財務諸表及びその他の情報

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：株式数を除き、千米ドル、千円 未監査)

	2020年9月30日現在		2019年12月31日現在	
	千米ドル	千円	千米ドル	千円
資産				
流動資産：				
現金及び現金同等物	4,926	521,171	11,391	1,205,168
短期投資	18,183	1,923,761	9,475	1,002,455
売掛金	77	8,147	107	11,321
棚卸資産	7,718	816,564	6,048	639,878
前払費用及びその他の流動資産	671	70,992	875	92,575
流動資産合計	31,575	3,340,635	27,896	2,951,397
有形固定資産 (純額)	673	71,203	535	56,603
繰延税金資産	553	58,507	677	71,627
使用権資産	1,131	119,660	1,058	111,936
その他の資産	4,944	523,076	8,380	886,604
資産合計	38,876	4,113,081	38,546	4,078,167
負債及び株主資本				
流動負債：				
買掛金	918	97,124	1,535	162,403
未払費用	1,562	165,260	2,012	212,870
早期行使ストック・オプション関連債務	28	2,962	67	7,089
顧客預り金	940	99,453	1,371	145,051
リース負債	704	74,483	549	58,084
流動負債合計	4,152	439,282	5,534	585,497
その他の長期負債	586	61,998	632	66,866
負債合計	4,738	501,280	6,166	652,363
株主資本：				
優先株式、額面価格0.0001米ドル (0.01円)				
授権株式数、2020年9月30日及び2019年12月31日現在、それぞれ5,000,000株及び5,000,000株				
発行済株式数、2020年9月30日及び2019年12月31日現在、それぞれ0株及び0株				
普通株式、額面価格0.0001米ドル (0.01円)				
授権株式数、2020年9月30日及び2019年12月31日現在、それぞれ75,000,000株及び75,000,000株				
発行済株式数、2020年9月30日及び2019年12月31日現在、それぞれ17,634,015株及び17,449,572株				
資本剰余金	22,149	2,343,364	20,928	2,214,182
その他の包括損益累計額	66	6,983	△15	△1,587
利益剰余金	11,921	1,261,242	11,465	1,212,997
株主資本合計	34,138	3,611,801	32,380	3,425,804
負債及び株主資本合計	38,876	4,113,081	38,546	4,078,167

テックポイント・インク (Techpoint, Inc.) (6697) 2020年12月期第3四半期決算短信

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：株式数及び1株当たり金額を除き、千米ドル、千円 未監査)

	9月30日に終了の9か月			
	2020年		2019年	
	千米ドル	千円	千米ドル	千円
売上高	20,823	2,203,073	21,809	2,307,392
売上原価	9,567	1,012,188	10,862	1,149,199
売上総利益	11,256	1,190,885	10,947	1,158,193
営業費用				
研究開発費	5,499	581,794	4,762	503,820
販売費及び一般管理費	5,327	563,597	4,939	522,546
営業費用合計	10,826	1,145,391	9,701	1,026,366
営業利益	430	45,494	1,246	131,827
その他の収益—純額	196	20,737	41	4,338
税引前四半期純利益	626	66,231	1,287	136,165
法人税等	170	17,986	113	11,956
四半期純利益	456	48,245	1,174	124,209
1株当たり四半期純利益 (米ドル (円))				
基本的	0.03	3	0.07	7
希薄化後	0.03	3	0.07	7
1株当たり四半期純利益 を計算する際の加重平均株式数				
基本的	17,559,438		17,239,544	
希薄化後	17,877,310		17,850,360	
包括利益：				
四半期純利益	456	48,245	1,174	124,209
その他の包括利益				
売却可能負債性証券に係る未実現利益	81	8,570	—	—
四半期包括利益	537	56,815	1,174	124,209

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。